

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 5 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204680		
法人名	株式会社 ウェル		
事業所名	グループホームこもれび		
所在地	広島県広島市佐伯区五日市7丁目8番43号 (電話) 082-923-8223		
自己評価作成日	令和5年3月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470204680-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470204680-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年4月20日（コロナ感染症の対応等で、令和4年度中の実施が困難のため、令和5年度に実施）

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当ホームは、五日市の中央部に位置しているが、住宅街で静かな環境である。建物は全館バリアフリーの鉄筋三階建てで、各ユニットが独立しており、落ち着いた生活を提供している。前面には田畑もあり、風通し・日当たりとも良好である。また、職員の定着率も良く、利用者様は安心して顔なじみの職員と過ごされている。隣接の脳神経外科医院を母体とし、提携医療機関となっている。毎週、認知症専門医が訪問し、利用者様やご家族、職員の相談に応じる等、健康面をサポートしている。提携医療機関は夜間も、緊急時の対応や往診、一時入院等を行っている。食事は栄養士が献立をたて調理しており、きざみ食からミキサー食まで、きめ細やかで栄養バランスの良いお食事を提供している。同敷地内のデイサービス・有料老人ホームとも連携を取り合い、状態に応じ有料老人ホームへの入居も可能である。また、コロナ対策の為、一部規模を縮小しつつも、初詣からクリスマス会まで季節毎の行事や誕生日会を行い、季節を感じて頂きながら利用者様同士の交流を促している。ご家族様との絆が途切れないよう、感染対策を行いつつ工夫して面会を継続している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームこもれびの特徴的な取り組みは、迅速な医療連携、食を楽しむ工夫である。事業所の代表者と施設長へ職員が意見しやすい環境を整え、離職率を低下させることで、利用者にとって馴染みのある職員が関り続けている。隣接する提携医療機関とはシームレスに繋がり、緊急時の即時対応が可能であり、また終末期をどこで過ごすのかを利用者、家族は選択することができる。栄養士を含む給食スタッフの調理する食事は、彩や盛り付けにも変化をつけ、味だけではなく視覚的にも楽しめるように工夫しており、利用者からの食事に関する要望や感想が直ぐに栄養士に伝わり、日々の献立に反映されている。

自己評価	外部評価	項目(こもれび1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念を踏まえ、フロア目標を毎年検討し、個人目標と共に掲示し、運営理念に沿ったケアの実践に繋げている。管理者と職員は、フロア会議で事例をあげ、フロア目標と運営理念に添ったケアが現場でなされているかの確認を行っている。また、新人研修時にも理念の説明を行なっている。	事業所では、職員の個人目標と、各フロア毎の目標を具体的に掲げ、各職員が目標の達成を目指すことで、日々の業務や利用者への介助が理念の実践に繋がるように動機づけを行っている。新入職員の研修では、理念や施設長の思い、現時点での事業所の課題なども共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者様や職員は、散歩や外出時に、日常的に近隣の方々と挨拶を交わし交流している。また、盆暮れの挨拶なども行い、町内のお祭りには、休憩所として使って頂き交流を図っている。(毎年実施していたが、現在はコロナ感染対策で御出席はご遠慮頂いている)	法人が町内会に加入しており、町内会長から地域の情報を得たり、事業所から町内会長へ、地域の困っている高齢者がいれば、積極的に相談を受けることを伝え、相互に交流している。利用者、職員は、事業所周辺の畑で作業をしている地域の方と、挨拶や会話を交わしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症介護の事例を運営会議を通し、ご家族様・町内会長や近所の方にも分かりやすくお話をしている。各行事にも参加して頂き様子も見て頂いて、理解を深めて頂いている。(今年度はコロナ感染対策で実施出来ない月がありました。代わりに文章照会での運営会議を実施しました。)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	フロア目標を公開している。入居者様やご家族様・地域の方・包括支援センター職員からも、ご感想や希望を聞き取り、行事や介護方法などで改善を行なっている。また、包括の職員からはコロナ感染対策で他施設の工夫している事案や現状の情報提携を受け、コロナ対策や運営に取り入れている。	運営推進会議は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、別室で開催又は、書面で参加者に事前に意見を聴取し書面で開催している。面会の継続実施への要望が多く寄せられ、感染対策を行い、状況に応じて対応方法を検討し、可能な限り面会が継続できるように工夫している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市担当課には、こもれびの現状や状態が伝わりやすいように報告書を作成し、提出している。広島市担当課には些細な相談などでも連絡を取らせて頂き協力してもらっている、市と共にサービスの質を向上していけるように努めている。	運営推進会議や、外部評価についての例外的な取り扱いについて不明な点は、広島市介護保険課事業者指導係に問い合わせ確認を行っている。運営推進会議の報告書は区役所の担当課にFAXで送付し、介護保険請求に関することは事務職員が問い合わせるなど、状況に応じて連絡を取っている。	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	生命の危険がありベッド柵等最低限の拘束を必要とする場合は、検討会議を行ない、ご家族様の了解を頂き、身体拘束規定に則り適切に実施している。玄関は安全面よりテンキーとしているが、要望があれば職員見守りの元で開錠している。身体拘束規定や人権について講習会を行っている。	身体拘束の原則が理解できるように講習会を開催し、正しい知識を習得できる機会を設けている。事業所では、身体拘束をしない為に、利用者の日中の活動量を増やす、ドライブに出かける、ホットミルクを提供して気分を変える、排便が滞らないように体調を管理するなどの工夫を行っている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会や、新人研修を通じ、虐待の具体的事例を学び、虐待について理解を深めている。又、虐待が見過ごされることないように、フロア会議や職員同士の確認を行ないながら防止・確認に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、研修等で学んだことを、必要にご家族様にお伝えし、活用できるよう支援している。パンフレットは常時窓口に整備し、いつでもお渡しできるようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時はご家族様と話し合い意見交換を行ないご理解とご納得を頂けるように努めている。改定に関しては運営会議でご家族様のご了解を頂いたうえで改定をする仕組みになっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	施設長やフロア責任者、職員はご家族様と信頼関係を築く努力を行ない、普段の会話からご意見やご意向を聞き取る努力を行ない職員会議で改善、反映させている。また運営会議の場でも、ご意見をお聞きし改善、反映させている。コロナ感染症対策で会議が開催出来ない時は文章照会で実施している。	利用者は、普段の生活の中で食べたい物や、欲しい物を職員に伝えている。事業所は行事食や、クリスマスプレゼントなどで、その意見を反映している。家族の意見は、電話で利用者の状況報告を行った際に聞き取り、面会方法の変更や、冠婚葬祭への参加の要望を取り入れた実例がある。	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、各フロア会議を開催している、議題には、ご家族様のご意向や職員の意見や提案を、管理者出席の下に検討を行っている。また、全体会議で意見交換を行い、運営に反映させている。又、管理者や各リーダー・サブに話しにくい時には、直接代表に連絡することも可能としている。	管理者は、毎月職員から意見を聴取している。意見袋を用意しており、無記名のメモでも提案ができるように配慮している。職員からは、備品の購入や、利用者の入浴介助に関する職員間の連携について、利用者の生活の質の向上につながる提案を行っており、サービスの向上につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、職員の状況を把握し、働きやすい職場作りに努めている。家庭の事情による急な休み希望などにも柔軟に対応している。また、職員の意見や発想を尊重し、実践できるようにしている。年間個人目標や年間フロア目標をたてることにより、目的意識や向上心を持って働けるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は、職員一人一人のケアの実施と力量を把握するように努め、研修会への参加を働きかけている。又、働きながらの介護福祉士や介護支援相談員などの資格取得も勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	事業所全体としての交換訪問等の取り組みはなされていないが、外部研修や介護支援専門員自主勉強会への参加を通じ、同業者との交流を図っている。他事業所の取り組みを参考にし、サービスの質の向上に努めている。現在、コロナ感染予防のため交流できていない。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事業所全体としての交換訪問等の取り組みはなされていないが、外部研修への参加を通じ、同業者との交流を図っている。他事業所の取り組みを参考にし、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始時には、フロアリーダー・サブリーダーが、ご本人・ご家族様と再度面談を行い、要望や不安なことをお伺いし、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>契約前の聞き取り調査の段階で、入所を希望するに至った経緯・現状をお聞きし、より良い支援方法をご家族と共に考え、入所以外の方法も含めた最善の対応方法を、アドバイスするよう心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、利用者様を人生の先輩として尊重し、学ばせて頂くという姿勢で支援させて頂いている。「介護する側」「介護される側」という関係ではなく、共に支え合う関係作りを目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>悩み事を話してもらえる関係づくりを目指している。一筆箋や年4回刊行している『こもれび便り』で利用者様のご様子をお伝えし、家族様と利用者様の絆がより深まるよう支援している。『こもれび便り』では、認知症の方への対応ワンポイントを揚げ、認知症への理解を深めて頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方に気楽に訪問頂き、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している。訪問されるお友達も高齢化し、少なくなりましたが、出来るだけこれまでの関係が途切れない様に支援している。馴染みの場所には、ご家族様にご協力頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ない月がありました)</p>	<p>この数年は、外出を自粛せざるを得ない状況であったが、感染予防対策を十分に行って、家族との面会が継続できるよう、面会方法を検討し、工夫することで継続実施に務めている。専門医へ通院する際の、家族との外出や、馴染みの病院の職員とも関りが持てるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、輪を保ち仲良く過ごされるよう心配りをしている。利用者様間でトラブルがおきた場合には、職員が間に入り支援している。毎月3ユニット合同の食事会や行事等で孤立しない生活を提供できるよう努めている。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました)		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去時には、退去後も心配事や相談事等あれば、いつでもお受けする旨をお伝えしている。家族の了解を頂ければ、退去後もお見舞いに行くなど、これまでの関係を大切にしよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者を決め、本人の希望や意向の把握に努め、全職員で情報を共有している。ご家族様にご様子を郵送し知らせている。	職員は、普段から利用者との何気ない会話や、小さな呟きを申し送りノートなどに書き留め、職員間で共有している。意向の表出が困難な利用者の場合は、家族から聞き取った生活習慣を参考に、思いを想像し、ケアの方法を検討している。利用者の反応を家族に伝え、軌道修正を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人一人に担当を決め、生活歴、暮らし方の把握に努め、フロア職員で情報を共有している。ご家族様より、これまでの生活歴や幼少期のことをお聞きし、会話や介護方法に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル測定・食事摂取量・排泄状態・表情等により、その日の心身の状態等の把握に努めている。その日の状態により、柔軟な対応を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・ご家族様の意向を確認し、認知症のケアについて精通している健康相談医・職員の意見も踏まえ、介護計画を作成している。介護計画は必要に応じ、サービス内容を検討し、見直しを行い、現状に即した介護計画となるよう努めている。</p>	<p>利用者一人ひとりに担当職員を配置し、担当職員が担当利用者に関する情報を収集し計画を作成している。ほぼ全ての職員が、介護計画の作成に関わる機会があり、計画には、日常生活での家事や、草むしりなどの役割や得意なことを活かした意見を反映し、作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別生活記録に日々の状況や、健康状態、気付き等を記録し、申し送り等で情報を共有している。生活記録は介護の実施や介護計画の見直しに活用している。また、ご家族様や健康相談医への報告等にも活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>身体機能が低下し共同生活が困難になった場合には、併設の有料老人ホームを紹介している。また、ご希望に応じ、併設のデイサービスを利用して頂いている。体調によっては、適切な病院を紹介する等の支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご利用者が、活気ある生活を送られるよう、地域のボランティアの方々より、演奏や舞踊等の支援を受けている。近隣の警察や消防署とも安全面での協力を得られている。(演奏会等の行事はコロナ感染対策で実施出来ていない)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・ご家族の意向により、かかりつけ医を持って頂いている。かかりつけ医と連絡を取り合いながら、適切な医療が受けられるよう支援している。提携病院・協力医療機関には職員が付き添い受診している。</p>	<p>利用者、家族へ利用開始時に協力医療機関について利点を説明し、希望した医師の診察を受けられるように支援している。提携医療機関は事業所に隣接しており、緊急時の連携や、入院の対応も可能である。専門医の受診は、家族に協力を依頼し、受診に必要な情報を提供して連携している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はバイタル測定にて体調を把握し、マニュアルに従い、かかりつけ医に報告している。(場合ではマニュアル記載以外の場合でも報告を行なっている)週一回の健康相談日に報告・相談し、適切な指示を受けている。緊急時には、提携病院である石原医院より協力も受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携病院に入院の際は、お見舞いに行かせて頂き、不安を和らげられるように、配慮をしている。また洗濯物を取りに行く、その際には病院関係者との情報交換に努めている。一時外出や一時外泊などを試みることで、早期退院への取り組みを行っている。(コロナ対策で実施出来ていない月がありました)		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時の重要事項を説明する際に、重度化した場合の対応についての説明をし、了承後に署名を頂いている。重度化した場合は、早い段階から、数回にわたり、ご家族様・管理者・リーダー・代表・健康相談医が同席し、納得の行くまで検討を重ね、方針を打ち出している。	利用開始時に重度化した場合の対応と、終末期ケアに関する説明を行い同意を得ている。利用者の状態が悪化した場合は、医師から家族へ説明し、今後の方針を検討している。提携医療機関である病院で最期を迎える方が多いことから、事業所では緊急時対応に重点を置き体制を強化している。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	急変や、事故発生時の対応についてのマニュアルを整備している。応急処置、初期対応ができるよう健康相談医から指導を受け、実践力をつけている。緊急時には、昼夜を問わず、提携病院から支援を受けられる体制にある。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力により、年2回の避難訓練を実施している。災害時の対応について指導を受け、実践力をつけている。緊急時には、隣接の施設や提携病院と連携が取れる体制になっている。推進会議ではマニュアルの説明を行っている。また、近隣の方々に、非常時のご協力をお願いしている。	事業所では年に2回、夜間の火災を想定した避難訓練を日中に実施している。職員が利用者役を担い、避難が困難なケースを想定して有事に備え訓練を実施している。水害や地震については、マニュアル上で職員と確認を行っている。町内会長を通じて地域の方に協力を依頼している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
し					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は利用者様を人生の先輩として人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう注意し支援をさせて頂いている。個別の生活記録は、部外者の目に触れない様配慮をしている。	個人記録に関わる書類は、普段から利用者が手に取って見ることができない場所で管理し、排泄に関わる伝達事項は職員間で暗号化して伝え、管理や伝達方法を工夫することで、プライバシーに配慮した取り組みを行っている。また、人権について、学ぶ機会も設けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	信頼関係を築き、日常生活の中で利用者様が自由に話せる環境づくりに努め、自己決定できるよう働きかけている。自己決定の難しい方は、表情や態度からくみ取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まり事や都合を優先するのではなく、可能な限り利用者様本位の支援を行い、利用者様の希望やペースに合わせた『待つ介護』を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月二回の訪問理美容を利用し、お好みの髪型を楽しまれている。毎朝、職員が身だしなみの支援をしている。ご家族様の協力により、季節に合わせたおしゃれを楽しまれている。(コロナ予防対策で実施出来ていない月がありました)		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は隣接施設の栄養士が献立を作成し、給食スタッフが作っている。献立のご希望等を、毎月の給食会議で伝え、反映させている。利用者様は、おやつ作りや、月一度の手料理を楽しんで頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました)	食事は、彩りよく、形状にも変化をつけて視覚からも楽しめるように工夫している。秋祭りなどの行事では、利用者が好きなものを選んで食べることができる。おやつ作りでは、利用者が主体的に調理や盛り付けに参加する機会となっており、一人ひとりの能力を活かせるように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。	摂取量を記録し栄養状態の把握に努めている。バランスの良い献立を心がけている。嚥下状態の悪い方には, きざみ食やとろみ剤使用のミキサー食を提供する等, きめ細やかな対応をしている。水分補給は, 午前・午後のお茶の時間と, 入浴の前後, ご希望時等に頻回に行うよう心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後, 状態に合わせた口腔ケアの支援を行っている。口腔内の状態を把握するように努め, 異変時には訪問歯科に診察をお願いしている。また希望があれば, 歯科衛生士に定期的口腔ケア・口腔内チェックに来て頂いている。(歯科衛生士訪問はコロナ感染対策で実施出来ない月がありました)		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして, トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を記録することにより, 排泄パターンの把握に努め, トイレ誘導を行っている。出来る限りオムツを使用しないケアを心がけ, トイレでの排泄を基本としている。	利用者の様子を観察し, 行動の変化に素早く気づき, トイレに誘導することで失敗を減らし, オムツやパットの使用量を減らすように努めている。常時オムツを使用している利用者が, トイレで排泄を希望した場合は, 職員が2, 3人で介助し可能な限りトイレで排泄ができるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員は便秘により, 認知症の周辺症状が悪化することを理解し, 水分や食物繊維の摂取, 運動等の便秘予防に取り組んでいる。三日以上排便がない場合は, 健康相談医の指示で, 服薬を行っている。オムツ使用の方にもトイレでの排便を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように, 職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに, 個々に応じた入浴の支援をしている。	週二回の入浴支援を行っている。入浴拒否の強い場合は無理をせず, 翌日入浴して頂く等柔軟な対応を心がけている。体調不良で入浴できない時は, 清拭を行っている。	入浴に嫌悪感を示す利用者には, 声のかけ方や対応する職員を変えたり, 好きな歌を職員と一緒に歌いながら脱衣室に移動することで, 利用者が入浴に対して不快な思いを持つことや, 精神的な負担とならないように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	照明・室温・寝具等で快適な環境づくりを心がけている。夜間、お休みなれない時は、お茶にお誘いしたりお話し相手になるなど、安心して寝られるよう支援している。お昼寝等の生活習慣も大切に、生活リズムを崩されない範囲で、起床時間にも幅を持たせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は、健康相談医の指導の下に、薬の目的や副作用等を確認・理解し、服薬支援を行っている。症状に変化ある場合には、健康相談医に報告し、適切な薬を適量服薬できるよう、きめ細かな指示を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	毎月の食事会や季節の行事により気分転換して頂いている。日常では、洗濯物たみをお手伝いして頂いている。少しでも張り合いのある生活を送られるよう支援している。(コロナ感染対策で実施出来ない月がありました。各フロアごとで実施しています。)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	屋外に出られる機会を増やすよう支援している。ドライブ等の行事にお誘いしている。初詣やお花見、その他、夏祭り、花火会、秋祭り等の行事を屋外で実施、外気に触れて頂く事に努めている。遠方への外出はご家族の協力により行われている。(コロナ感染対策で各フロアのみで実施しています)	季節の行事は、感染症の予防対策を十分にいき、体調不良の方を除き、規模を縮小して継続実施している。実施方法が全体から各フロア毎に変更しているが、車いすを使用している利用者も参加し、日程を細かく少人数で分け、実施期間を長く設定することで実現している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員は、ご本人がお金を所持する大切さを理解しており、希望の方には少額のお金を持って頂いている。買い物に出かけることは、年々困難になられており、職員が希望を聞いて、買い物代行を週に一回行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族やお友達に電話をかける、取り次ぐ等の支援を行っている。お手紙を書かれることは、稀になられてきている。ご希望があれば支援を行なっている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合わせて室温と湿度を調整している。コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。コロナウィルスを外部から持ち込まない為に職員は日常生活でもマニュアルに従い感染予防対策を行っている。各フロアそれぞれに、季節を感じて頂けるよう飾り付けにも工夫をしている。	共用部の照明は、天候や時間帯によって色味を使い分けている。共用部で職員同士がコミュニケーションをとる場合は、利用者にも参加してもらえるように工夫することで、利用者には不快感を与えないように配慮し、居心地よく過ごしてもらえるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間には、食卓テーブル・ソファ・畳スペースがあり、利用者様は気の合った方とお好きな場所でくつろいでおられる。お一人になられたい時には、自室にて過ごされている。また、ご自分で意思表示できない方は、声掛けや体調を配慮し思いに添えるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には、今まで使い慣れた物や馴染の物を持ってきて頂くようお願いしている。各部屋、壁紙やカーテン、居室のドアの目印を変えることにより、ご自分の居場所が認識しやすい様工夫している。また、コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。	利用開始時には、使い慣れた日用品や、思い出の深い馴染みのある家具を持参してもらおうように依頼している。利用者の移動能力に応じて、ベッドや家具の配置を変更することで、居室内での移動が可能な限り自立できるように工夫している。居心地よく過ごせるように清掃も定期的実施している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部は、バリアフリーで、各所に手すりを整備しており、できるだけ安全に自立した生活が送れるよう配慮している。また廊下幅や脱衣場、トイレにもゆとりを持たせ、車椅子での生活にも対応できるようにしている。		

V アウトカム項目(こもれび1階) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(こもれび2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念を踏まえ、フロア目標を毎年検討し、個人目標と共に掲示し、運営理念に沿ったケアの実践に繋げている。管理者と職員は、フロア会議で事例をあげ、フロア目標と運営理念に添ったケアが現場でなされているかの確認を行っている。また、新人研修時にも理念の説明を行なっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者様や職員は、散歩や外出時に、日常的に近隣の方々と挨拶を交わし交流している。また、盆暮れの挨拶なども行い、町内のお祭りには、休憩所として使って頂き交流を図っている。(毎年実施していたが、現在はコロナ感染対策で御出席はご遠慮頂いている)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症介護の事例を運営会議を通し、ご家族様・町内会長や近所の方にも分かりやすくお話をしている。各行事にも参加して頂き様子も見て頂いて、理解を深めて頂いている。(今年度はコロナ感染対策で実施出来ない月がありました。代わりに文章照会での運営会議を実施しました。)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	フロア目標を公開している。入居者様やご家族様・地域の方・包括支援センター職員からも、ご感想や希望を聞き取り、行事や介護方法などで改善を行なっている。また、包括の職員からはコロナ感染対策で他施設の工夫している事案や現状の情報提携を受け、コロナ対策や運営に取り入れている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市担当課には、こもれびの現状や状態が伝わり分かりやすいように報告書を作成し、提出している。広島市担当課には些細な相談などでも連絡を取らせて頂き協力してもらっている、市と共にサービスの質を向上していけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	生命の危険がありベッド柵等最低限の拘束を必要とする場合は、検討会議を行ない、ご家族様の了解を頂き、身体拘束規定に則り適切に実施している。玄関は安全面よりテンキーとしているが、要望があれば職員見守りの元で開錠している。身体拘束規定や人権について講習会を行なっている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	勉強会や、新人研修を通じ、虐待の具体的事例を学び、虐待について理解を深めている。又、虐待が見過ごされないよう、フロア会議や職員同士の確認を行ないながら防止・確認に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、研修等で学んだことを、必要なご家族様にお伝えし、活用できるよう支援している。パンフレットは常時窓口を整備し、いつでもお渡しできるようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時はご家族様と話し合い意見交換を行ないご理解とご納得を頂けるように努めている。改定に関しては運営会議でご家族様のご了解を頂いたうえで改定をする仕組みになっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	施設長やフロア責任者、職員はご家族様と信頼関係を築く努力を行ない、普段の会話からご意見やご意向を聞き取る努力を行ない職員会議で改善、反映させている。また運営会議の場でも、ご意見をお聞きし改善、反映させている。コロナ感染対策で会議が開催出来ない時は文章照会を実施しました。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、各フロア会議を開催している、議題には、ご家族様のご意向や職員の意見や提案を、代表・管理者出席の下に検討を行なっている。また、全体会議で意見交換を行い、運営に反映させている。又、管理者や各リーダー・サブに話しにくい時には、直接代表に連絡することも可能としている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、職員の状況を把握し、働きやすい職場作りに努めている。家庭の事情による急な休み希望などにも柔軟に対応している。また、職員の意見や発想を尊重し、実践できるようにしている。年間個人目標や年間フロア目標をたてることにより、目的意識や向上心を持って働けるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は、職員一人一人のケアの実施と力量を把握するように努め、研修会への参加を働きかけている。又、働きながら介護福祉士や介護支援相談員などの資格取得も勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	事業所全体としての交換訪問等の取り組みはなされていないが、外部研修や介護支援専門員自主勉強会への参加を通じ、同業者との交流を図っている。他事業所の取り組みを参考にし、サービスの質の向上に努めている。現在、コロナ感染予防のため交流できていない。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事業所全体としての交換訪問等の取り組みはなされていないが、外部研修への参加を通じ、同業者との交流を図っている。他事業所の取り組みを参考にし、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始時には、フロアリーダー・サブリーダーが、ご本人・ご家族様と再度面談を行い、要望や不安なことをお伺いし、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>契約前の聞き取り調査の段階で、入所を希望するに至った経緯・現状をお聞きし、より良い支援方法をご家族と共に考え、入所以外の方法も含めた最善の対応方法を、アドバイスするよう心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、利用者様を人生の先輩として尊重し、学ばせて頂くという姿勢で支援させて頂いている。「介護する側」「介護される側」という関係ではなく、共に支え合う関係作りを目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>悩み事を話してもらえる関係づくりを目指している。一筆箋や年4回刊行している『こもれば便り』で利用者様のご様子をお伝えし、家族様と利用者様の絆がより深まるよう支援している。『こもれば便り』では、認知症の方への対応ワンポイントを揚げ、認知症への理解を深めて頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方に気楽に訪問頂き、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している。訪問されるお友達も高齢化し、少なくなりましたが、出来るだけこれまでの関係が途切れない様に支援している。馴染みの場所には、ご家族様にご協力頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ない月がありました)</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、輪を保ち仲良く過ごされるよう心配りをしている。利用者様間でトラブルがおきた場合には、職員が間に入り支援している。毎月3ユニット合同の食事会や行事等で孤立しない生活を提供できるよう努めている。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました)		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去時には、退去後も心配事や相談事等あれば、いつでもお受けする旨をお伝えしている。家族の了解を頂ければ、退去後もお見舞いに行くなど、これまでの関係を大切にしよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者を決め、本人の希望や意向の把握に努め、全職員で情報を共有している。ご家族様にご様子を郵送し知らせしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人一人に担当を決め、生活歴、暮らし方の把握に努め、フロア職員で情報を共有している。ご家族様より、これまでの生活歴や幼少期のことをお聞きし、会話や介護方法に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル測定・食事摂取量・排泄状態・表情等により、その日の心身の状態等の把握に努めている。その日の状態により、柔軟な対応を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・ご家族様の意向を確認し、認知症のケアについて精通している健康相談医・職員の意見も踏まえ、介護計画を作成している。介護計画は必要に応じ、サービス内容を検討し、見直しを行い、現状に即した介護計画となるよう努めている。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別生活記録に日々の状況や、健康状態、気付き等を記録し、申し送り等で情報を共有している。生活記録は介護の実施や介護計画の見直しに活用している。また、ご家族様や健康相談医への報告等にも活用している。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>身体機能が低下し共同生活が困難になった場合には、併設の有料老人ホームを紹介している。また、ご希望に応じ、併設のデイサービスを利用して頂いている。体調によっては、適切な病院を紹介する等の支援を行っている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご利用者が、活気ある生活を送られるよう、地域のボランティアの方々より、演奏や舞踊等の支援を受けている。近隣の警察や消防署とも安全面での協力を得られている。(演奏会等の行事はコロナ感染対策で実施出来ていない)</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・ご家族の意向により、かかりつけ医を持って頂いている。かかりつけ医と連絡を取り合いながら、適切な医療が受けられるよう支援している。提携病院・協力医療機関には職員が付き添い受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はバイタル測定にて体調を把握し、マニュアルに従い、かかりつけ医に報告している。(場合ではマニュアル記載以外の場合でも報告を行なっている)週一回の健康相談日に報告・相談し、適切な指示を受けている。緊急時には、提携病院である石原医院より協力も受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携病院に入院の際は、定期的にお見舞いに行かせて頂き、利用者様の不安を和らげられるように、配慮をしている。また洗濯物を取りに行く際には、病院関係者との情報交換に努め、信頼関係を構築している。また、一時外出や、一時外泊などを試みることで、早期退院への取り組みを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時の重要事項を説明する際に、重度化した場合の対応についての説明をし、了承後に署名を頂いている。重度化した場合は、早い段階から、数回にわたり、ご家族様・管理者・リーダー・代表・健康相談医が同席し、納得の行くまで検討を重ね、方針を打ち出している。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や、事故発生時の対応についてのマニュアルを整備している。応急処置、初期対応ができるよう健康相談医から指導を受け、実践力を付けている。緊急時には、昼夜を問わず、提携病院から支援を受けられる体制にある。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力により、年2回の避難訓練を実施している。災害時の対応について指導を受け、実践力を付けている。緊急時には、隣接の施設や提携病院と連携が取れる体制になっている。推進会議ではマニュアルの説明を行っている。また、近隣の方々に、非常時のご協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は利用者様を人生の先輩として人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないよう注意し支援をさせて頂いている。個別の生活記録は、部外者の目に触れない様配慮をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	信頼関係を築き、日常生活の中で利用者様が自由に話せる環境づくりに努め、自己決定できるような働きかけている。自己決定の難しい方の場合、表情や態度からくみ取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まり事や都合を優先するのではなく、可能な限り利用者様本位の支援を行い、利用者様の希望やペースに合わせた『待つ介護』を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月二回の訪問理美容を利用し、お好みの髪型を楽しまれている。毎朝、職員が身だしなみの支援をしている。ご家族様の協力により、季節に合わせたおしゃれを楽しまれている。(コロナ予防対策で実施出来ない月がありました)		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は隣接施設の栄養士が献立を作成し、給食スタッフが作っている。献立のご希望等を、毎月の給食会議で伝え、反映させている。利用者様は、おやつ作りや、月一度の手料理を楽しんで頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ない月がありました)		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。	取量を記録し栄養状態の把握に努めている。バランスの良い献立を心がけている。嚥下状態の悪い方には、きざみ食やとろみ剤使用のミキサー食を提供する等、きめ細やかな対応をしている。水分補給は、午前・午後のお茶の時間と、入浴の前後、ご希望時等に頻回に行うよう心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、状態に合わせた口腔ケアの支援を行っている。口腔内の状態を把握するように努め、異変時には訪問歯科に診察をお願いしている。また希望があれば、歯科衛生士に定期的口腔ケア・口腔内チェックに来て頂いている。(歯科衛生士訪問はコロナ感染対策で実施出来ない月がありました)		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を記録することにより、排泄パターンの把握に努め、トイレ誘導を行っている。出来る限りオムツを使用しないケアを心がけ、トイレでの排泄を基本としている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員は便秘により、認知症の周辺症状が悪化することを理解し、水分や食物繊維の摂取、運動等の便秘予防に取り組んでいる。三日以上排便がない場合は、健康相談医の指示で、服薬を行っている。オムツ使用の方にもトイレでの排便を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週二回の入浴支援を行っている。入浴拒否の強い場合は無理をせず、翌日入浴して頂く等柔軟な対応を心がけている。体調不良で入浴できない時は、清拭を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	照明・室温・寝具等で快適な環境づくりを心がけている。夜間、お休みなれない時は、お茶にお誘いしたりお話し相手になるなど、安心して寝られるよう支援している。お昼寝等の生活習慣も大切に、生活リズムを崩されない範囲で、起床時間にも幅を持たせている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は、健康相談医の指導の下に、薬の目的や副作用等を確認・理解し、服薬支援を行っている。症状に変化ある場合には、健康相談医に報告し、適切な薬を適量服薬できるよう、きめ細かな指示を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	毎月の食事会や季節の行事により気分転換して頂いている。日常では、洗濯物たたみをお手伝いして頂いている。少しでも張り合いのある生活を送られるよう支援している。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました。各フロアごとで実施しています。)		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	屋外に出られる機会を増やすよう支援している。ドライブ等の行事にお誘いしている。初詣やお花見、その他、夏祭り、花火会、秋祭り等の行事を屋外で実施、外気に触れて頂く事に努めている。遠方への外出はご家族の協力により行われている。(コロナ感染対策で各フロアのみで実施しています)		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員は、ご本人がお金を所持する大切さを理解しており、希望の方には少額のお金を持って頂いている。買い物に出かけることは、年々困難になられており、職員が希望を聞いて、買い物代行を週に一回行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族やお友達に電話をかける、取り次ぐ等の支援を行っている。お手紙を書かれることは、稀になられてきている。ご希望があれば支援を行なっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に合わせて室温と湿度を調整している。コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。コロナウイルスを外部から持ち込まない為に職員は日常生活でもマニュアルに従い感染予防対策を行っている。各フロアそれぞれに、季節を感じて頂けるよう飾り付けにも工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間には、食卓テーブル・ソファ・畳スペースがあり、利用者様は気の合った方とお好きな場所でくつろいでおられる。お一人になられたい時には、自室にて過ごされている。また、ご自分で意思表示できない方は、声掛けや体調を配慮し思いに添えるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際には、今まで使い慣れた物や馴染みの物を持ってきて頂くようお願いしている。各部屋、壁紙やカーテン、居室のドアの目印を変えることにより、ご自分の居場所が認識しやすい様工夫している。また、コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部は、バリアフリーで、各所に手すりを整備しており、できるだけ安全に自立した生活が送れるよう配慮している。また廊下幅や脱衣場、トイレにもゆとりを持たせ、車椅子での生活にも対応できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(こもれば2階) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(こもれび3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念を踏まえ、フロア目標を毎年検討し、個人目標と共に掲示し、運営理念に沿ったケアの実践に繋げている。管理者と職員は、フロア会議で事例をあげ、フロア目標と運営理念に添ったケアが現場でなされているかの確認を行っている。また、新人研修時にも理念の説明を行なっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者様や職員は、散歩や外出時に、日常的に近隣の方々と挨拶を交わし交流している。また、盆暮れの挨拶なども行い、町内のお祭りには、休憩所として使って頂き交流を図っている。(毎年実施していたが、現在はコロナ感染対策で御出席はご遠慮頂いている)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症介護の事例を運営会議を通し、ご家族様・町内会長や近所の方にも分かりやすくお話をしている。各行事にも参加して頂き様子も見て頂いて、理解を深めて頂いている。(今年度はコロナ感染対策で実施出来ない月がありました。代わりに文章照会での運営会議を実施しました。)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	フロア目標を公開している。入居者様やご家族様・地域の方・包括支援センター職員からも、ご感想や希望を聞き取り、行事や介護方法などで改善を行なっている。また、包括の職員からはコロナ感染対策で他施設の工夫している事案や現状の情報提携を受け、コロナ対策や運営に取り入れている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市担当課には、こもれびの現状や状態が伝わり分かりやすいように報告書を作成し、提出している。広島市担当課には些細な相談などでも連絡を取らせて頂き協力してもらっている、市と共にサービスの質を向上していけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>生命の危険がありベッド柵等最低限の拘束を必要とする場合は、検討会議を行ない、ご家族様の了解を頂き、身体拘束規定に則り適切に実施している。玄関は安全面よりテンキーとしているが、要望があれば職員見守りの元で開錠している。身体拘束規定や人権について講習会を行なっている。</p>		
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会や、新人研修を通じ、虐待の具体的事例を学び、虐待について理解を深めている。又、虐待が見過ごされることのないよう、フロア会議や職員同士の確認を行ないながら防止・確認に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について、研修等で学んだことを、必要なご家族様にお伝えし、活用できるよう支援している。パンフレットは常時窓口を整備し、いつでもお渡しできるようにしている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、解約時はご家族様と話し合い意見交換を行ないご理解とご納得を頂けるように努めている。改定に関しては運営会議でご家族様のご了解を頂いたうえで改定をする仕組みになっている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設長やフロア責任者、職員はご家族様と信頼関係を築く努力を行ない、普段の会話からご意見やご意向を聞き取る努力を行ない職員会議で改善、反映させている。また運営会議の場でも、ご意見をお聞きし改善、反映させている。コロナ感染対策で会議が開催出来ない時は文章照会を実施しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、各フロア会議を開催している、議題には、ご家族様のご意向や職員の意見や提案を、代表・管理者出席の下に検討を行なっている。また、全体会議で意見交換を行い、運営に反映させている。又、管理者や各リーダー・サブに話しにくい時には、直接代表に連絡することも可能としている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、職員の状況を把握し、働きやすい職場作りに努めている。家庭の事情による急な休み希望などにも柔軟に対応している。また、職員の意見や発想を尊重し、実践できるようにしている。年間個人目標や年間フロア目標をたてることにより、目的意識や向上心を持って働けるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は、職員一人一人のケアの実施と力量を把握するように努め、研修会への参加を働きかけている。又、働きながら介護福祉士や介護支援相談員などの資格取得も勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	事業所全体としての交換訪問等の取り組みはなされていないが、外部研修や介護支援専門員自主勉強会への参加を通じ、同業者との交流を図っている。他事業所の取り組みを参考にし、サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前に聞き取り調査を行い、ご本人・ご家族と面談している。現状を確認し、困っていることや不安に思われていること等をゆっくりお聞きする機会を持ち、ご本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。また、入居を決められる前にホームに体験入居されることを勧めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始時には、フロアリーダー・サブリーダーが、ご本人・ご家族様と再度面談を行い、要望や不安なことをお伺いし、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>契約前の聞き取り調査の段階で、入所を希望するに至った経緯・現状をお聞きし、より良い支援方法をご家族と共に考え、入所以外の方法も含めた最善の対応方法を、アドバイスするよう心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、利用者様を人生の先輩として尊重し、学ばせて頂くという姿勢で支援させて頂いている。「介護する側」「介護される側」という関係ではなく、共に支え合う関係作りを目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>悩み事を話してもらえる関係づくりを目指している。一筆箋や年4回刊行している『こもれば便り』で利用者様のご様子をお伝えし、家族様と利用者様の絆がより深まるよう支援している。『こもれば便り』では、認知症の方への対応ワンポイントを揚げ、認知症への理解を深めて頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方に気楽に訪問頂き、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している。訪問されるお友達も高齢化し、少なくなりましたが、出来るだけこれまでの関係が途切れない様に支援している。馴染みの場所には、ご家族様にご協力頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ない月がありました)</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、輪を保ち仲良く過ごされるよう心配りをしている。利用者様間でトラブルがおきた場合には、職員が間に入り支援している。毎月3ユニット合同の食事会や行事等で孤立しない生活を提供できるよう努めている。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました)		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去時には、退去後も心配事や相談事等あれば、いつでもお受けする旨をお伝えしている。家族の了解を頂ければ、退去後もお見舞いに行くなど、これまでの関係を大切にしよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者を決め、本人の希望や意向の把握に努め、全職員で情報を共有している。面会時にはご家族様にも、ご本人の意向を確認している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人一人に担当を決め、生活歴、暮らし方の把握に努め、フロア職員で情報を共有している。ご家族様より、これまでの生活歴や幼少期のことをお聞きし、会話や介護方法に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル測定・食事摂取量・排泄状態・表情等により、その日の心身の状態等の把握に努めている。その日の状態により、柔軟な対応を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・ご家族様の意向を確認し、認知症のケアについて精通している健康相談医・職員の意見も踏まえ、介護計画を作成している。介護計画は必要に応じ、サービス内容を検討し、見直しを行い、現状に即した介護計画となるよう努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別生活記録に日々の状況や、健康状態、気付き等を記録し、申し送り等で情報を共有している。生活記録は介護の実施や介護計画の見直しに活用している。また、ご家族様や健康相談医への報告等にも活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>身体機能が低下し共同生活が困難になった場合には、併設の有料老人ホームを紹介している。また、ご希望に応じ、併設のデイサービスを利用して頂いている。体調によっては、適切な病院を紹介する等の支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご利用者が、活気ある生活を送られるよう、地域のボランティアの方々より、演奏や舞踊等の支援を受けている。近隣の警察や消防署とも安全面での協力を得られている。(演奏会等の行事はコロナ感染対策で実施出来ていない)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人・ご家族の意向により、かかりつけ医を持って頂いている。かかりつけ医と連絡を取り合いながら、適切な医療が受けられるよう支援している。提携病院・協力医療機関には職員が付き添い受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はバイタル測定にて体調を把握し、マニュアルに従い、かかりつけ医に報告している。(場合ではマニュアル記載以外の場合でも報告を行なっている)週一回の健康相談日に報告・相談し、適切な指示を受けている。緊急時には、提携病院である石原医院より協力も受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携病院に入院の際は、定期的にお見舞いに行かせて頂き、利用者様の不安を和らげられるように、配慮をしている。また洗濯物を取りに行く際には、病院関係者との情報交換に努め、信頼関係を構築している。また、一時外出や、一時外泊などを試みることで、早期退院への取り組みを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時の重要事項を説明する際に、重度化した場合の対応についての説明をし、了承後に署名を頂いている。重度化した場合は、早い段階から、数回にわたり、ご家族様・管理者・リーダー・代表・健康相談医が同席し、納得の行くまで検討を重ね、方針を打ち出している。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や、事故発生時の対応についてのマニュアルを整備している。応急処置、初期対応ができるよう健康相談医から指導を受け、実践力を付けている。緊急時には、昼夜を問わず、提携病院から支援を受けられる体制にある。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力により、年2回の避難訓練を実施している。災害時の対応について指導を受け、実践力を付けている。緊急時には、隣接の施設や提携病院と連携が取れる体制になっている。推進会議ではマニュアルの説明を行っている。また、近隣の方々に、非常時のご協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は利用者様を人生の先輩として人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないように注意し支援をさせて頂いている。個別の生活記録は、部外者の目に触れない様配慮をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	信頼関係を築き、日常生活の中で利用者様が自由に話せる環境づくりに努め、自己決定できるよう働きかけている。自己決定の難しい方の場合、表情や態度からくみ取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まり事や都合を優先するのではなく、可能な限り利用者様本位の支援を行い、利用者様の希望やペースに合わせた『待つ介護』を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月二回の訪問理美容を利用し、お好みの髪型を楽しまれている。毎朝、職員が身だしなみの支援をしている。ご家族様の協力により、季節に合わせたおしゃれを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は隣接施設の栄養士が献立を作成し、給食スタッフが作っている。献立のご希望等を、毎月の給食会議で伝え、反映させている。利用者様は、おやつ作りや、月一度の手料理を楽しんで頂いている。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました)		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス, 水分量が一 日を通じて確保できるよう, 一人ひと りの状態や力, 習慣に応じた支援をし ている。	取量を記録し栄養状態の把握に努めてい る。バランスの良い献立を心がけてい る。嚥下状態の悪い方には, きざみ食や とろみ剤使用のミキサー食を提供する 等, きめ細やかな対応をしている。水分 補給は, 午前・午後のお茶の時間と, 入 浴の前後, ご希望時等に頻回に行うよう 心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後, 状態に合わせた口腔ケアの支援 を行っている。口腔内の状態を把握す るよう努め, 異変時には訪問歯科に診察 をお願いしている。また希望があれば, 歯科衛生士に定期的口腔ケア・口腔内 チェックに来て頂いている。(歯科衛生 士訪問はコロナ感染対策で実施出来てい ない月がありました)		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習 慣を活かして, トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を記録することにより, 排泄パ ターンの把握に努め, トイレ誘導を行っ ている。出来る限りオムツを使用しない ケアを心がけ, トイレでの排泄を基本と している。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲 食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員は, 便秘により認知症の周辺症状が 悪化することを理解し, 水分や食物繊維 の摂取, 運動等の便秘予防に取り組んで いる。三日以上排便がない場合は, 健康 相談医の指示で, 服薬を行っている。オ ムツ使用の方にもトイレでの排便を促し ている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように, 職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に, 個々に応じた入浴の支援をしてい る。	週二回の入浴支援を行っている。入浴拒 否の強い場合は無理をせず, 翌日入浴し て頂く等, 柔軟な対応を心がけている。 体調不良で入浴できない時は, 清拭を 行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	照明・室温・寝具等で快適な環境づくりを心がけている。夜間、お休みなれない時は、お茶にお誘いしたりお話し相手になるなど、安心して寝られるよう支援している。お昼寝等の生活習慣も大切に、生活リズムを崩されない範囲で、起床時間にも幅を持たせている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は、健康相談医の指導の下に、薬の目的や副作用等を確認・理解し、服薬支援を行っている。症状に変化ある場合には、健康相談医に報告し、適切な薬を適量服薬できるよう、きめ細かな指示を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	毎月の食事会や季節の行事により気分転換して頂いている。日常では、洗濯物たたみをお手伝いして頂いている。少しでも張り合いのある生活を送られるよう支援している。(コロナ感染対策で実施出来ていない月がありました。各フロアごとで実施しています。)		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	屋外に出られる機会を増やすよう支援している。ドライブ等の行事にお誘いしている。初詣やお花見、その他、夏祭り、花火会、秋祭り等の行事を屋外で実施、外気に触れて頂く事に努めている。遠方への外出はご家族の協力により行われている。(コロナ感染対策で各フロアのみで実施しています)		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員は、ご本人がお金を所持する大切さを理解しており、希望の方には少額のお金を持って頂いている。買い物に出かけることは、年々困難になられており、職員が希望を聞いて、買い物代行を週に一回行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族やお友達に電話をかける、取り次ぐ等の支援を行っている。お手紙を書かれることは、稀になられてきている。ご希望があれば支援を行なっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に合わせて室温と湿度を調整している。コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。コロナウイルスを外部から持ち込まない為に職員は日常生活でもマニュアルに従い感染予防対策を行っている。各フロアそれぞれに、季節を感じて頂けるよう飾り付けにも工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間には、食卓テーブル・ソファ・畳スペースがあり、利用者様は気の合った方とお好きな場所でくつろいでおられる。お一人になりたい時には、自室にて過ごされている。また、ご自分で意思表示できない方は、声掛けや体調を配慮し思いに添えるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際には、今まで使い慣れた物や馴染みの物を持ってきて頂くようお願いしている。各部屋、壁紙やカーテン、居室のドアの目印を変えることにより、ご自分の居場所が認識しやすい様工夫している。また、コロナ予防のため換気・消毒を定期的実施している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部は、バリアフリーで、各所に手すりを整備しており、できるだけ安全に自立した生活が送れるよう配慮している。また廊下幅や脱衣場、トイレにもゆとりを持たせ、車椅子での生活にも対応できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目(こもれば3階) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームこもれび

作成日 令和5年5月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	面会、行事等の通常化。	感染対策を徹底しながらコロナ前の運営に戻す。	健康管理と情報共有を徹底し感染がなくても最小限に抑える体制の下に通常運営に切り替える。	6ヶ月
2	44	便秘の改善と水分補給量の増加。	自然排便と熱中症予防。	健康相談医との連携強化と日常生活での水分補給の声掛けと工夫を実施。	3ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。